セキュリティチップ機能使用時の注意

◆「Windows 暗号化ファイルシステム(EFS)を使用する場合の注意

タイプ MF(液晶一体型)をお使いの方は、「本製品をお買い求めのお客様へ」に記載されている「■USB キーボード または、セキュリティチップ機能使用時の注意」も併せてご覧ください。

本機添付のアプリケーション「ハードディスク暗号化ユーティリティ」、および Windows 暗号化ファイルシステム(EFS)を使用し、下記フォルダを暗号化する場合は、次の順番で操作してください。

「C:¥USERS¥USERNAME¥APPDATA¥LOCAL¥MICROSOFT」

USERS ： エクスプローラ上では「ユーザー」と表示されます。
USERNAME ： ログインしているユーザー名に読み替えてください。

下記の順番で操作を行わないと、DeviceProtectorをインストールした場合に、Windowsにログインできなくなることがあります。Windowsにログインできなくなってしまった場合は、「c. Windowsにログインできなくなった場合」の手順を行ってください。

a. 「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用する場合

1 **既に「セキュリティチップ ユーティリティ」をインストールしている場合は、いったん「セキュリティチップ ユーティリティ」をアンインストールする**

2 **「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をインストールする**

3 **上記フォルダを暗号化する**
「詳細設定モード」では、上記フォルダにチェックを付けてください。
「標準モード」では、上記フォルダは自動的に暗号化されます。

4 **「セキュリティチップ ユーティリティ」をインストールする**

b. Windows 暗号化ファイルシステム(EFS)を使用する場合

Windows 暗号化ファイルシステム(EFS)を使用し、上記フォルダを暗号化する場合も同様に「セキュリティチップ ユーティリティ」をインストールする前に暗号化を行ってください。

c. Windows にログインできなくなった場合

1 **本機の電源スイッチを押す**

2 **「NEC」ロゴ画面で【F8】を押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す**

4 **ログイン画面でパスワードが要求されたら、パスワードを入力し、【Enter】を押す**
セーフモードで起動します。

5 **DeviceProtectorをアンインストールする**
DeviceProtectorのアンインストール方法は電子マニュアルの「アプリケーションの概要と削除/追加」の「DeviceProtector」を参照してください。
DeviceProtectorのアンインストールが完了したら、自動で再起動します。

(裏面に続く)

853-810636-068-A
810636068A

6 **ログイン画面でパスワードを要求されたら、パスワードを入力し、【Enter】を押す**
黒い画面が長時間表示された後、ログインされます。
ログインされるまでしばらくお待ちください。

7 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック**

8 **「名前」に「C:¥USERS¥(ユーザー名)¥」と入力し、「OK」ボタンをクリック**

(ユーザー名)にはログインしているアカウント名を入力してください。

9 **「整理」→「フォルダと検索のオプション」をクリック**

10 **「フォルダ オプション」が表示されたら、「表示」タブをクリック**

11 **「ファイルとフォルダの表示」項目の「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択し、「OK」ボタンをクリック**

12 **「C:¥USERS¥(ユーザー名)¥APPDATA¥LOCAL¥MICROSOFT」フォルダを右クリックし、「プロパティ」をクリック**

(ユーザー名)にはログインしているアカウント名を入力してください。

13 **「Microsoftのプロパティ」が表示されたら、「全般」タブの「詳細設定」ボタンをクリック**

14 **「属性の詳細」が表示されたら、「内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する」のチェックをはずして、「OK」ボタンをクリック**

15 **「Microsoftのプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリック**

16 **「属性変更の確認」が表示されたら、「変更をこのフォルダ、サブフォルダおよびファイルに適用する」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック**

17 **「アクセス拒否」が表示されたら、「続行」ボタンをクリック**

18 **「ユーザー アカウント制御」が表示されたら、「続行」ボタンをクリック**

19 **「Infineon Security Platform ユーザー認証」が表示されたら、基本ユーザーパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック**

20 **「属性の適用エラー」が表示されたら、「すべて無視」ボタンをクリック**

21 **属性の適用が終了したら、全てのウインドウを閉じて、再起動する**

22 **手順7から手順13までと同じ操作を行う**

23 **「属性の詳細」が表示されたら、「内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する」にチェックをつけ、「OK」ボタンをクリック**

24 **手順15から手順18までと同じ操作を行う**

25 **「属性の適用エラー」が表示されたら、「すべて無視」ボタンをクリック**

26 **「Infineon Security Platform ユーザー認証」が表示されたら、「キャンセル」ボタンをクリック(数回表示されます)**

27 **手順11で行った設定を元に戻す**

28 **DeviceProtectorをインストールする**
DeviceProtectorのインストール方法は電子マニュアルの「アプリケーションの概要と削除/追加」の「DeviceProtector」を参照してください。

◆フロッピーディスクにデータを書き込む場合の注意

本機に「セキュリティチップ ユーティリティ」をインストールしている環境でフロッピーディスクにデータを書き込む場合は、デスクトップ画面右下の通知領域にある「セキュリティチップ ユーティリティ」のアイコン  が表示されていることを確認してから、書き込みを開始してください。